

XSOL SOLAR STAR 制度

～格付けがもたらす世界～

100を超えるチェック項目で太陽光発電を評価

「XSOLSOLAR STAR 制度」は、100 を超えるチェック項目で太陽光発電所を査定し、買主、売主、さらにその先にいる電気を使用する方々の課題やリスクまで解消します。



次のような悩み、課題をお持ちの方はご相談ください

- ★太陽光発電所の価値を向上させたい。信頼を上積みしたい。
- ★太陽光発電所の建設にあたり、第三者の知見を得たい。
- ★太陽光発電所が、確かなものか、長期安定稼働が期待できるかどうか知りたい。
- ★太陽光発電所の価値を知りたい。強味と弱味（リスク）を知り、価値が適正であるかを知りたい。
- ★安定的な稼働が見込めるから電気を買いたい。

CONTENTS

XSOL SOLAR STAR 制度 …… P.2 ～ 7

XSOL SOLAR STAR 補償 …… P.8 ～ 11

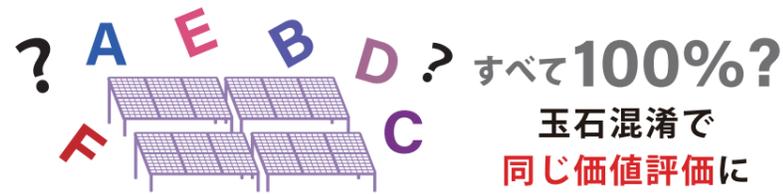
格付けがもたらす世界

FIT 制度を起爆剤として、日本中に65GW (約60万件)以上の太陽光発電が導入され、さらにその後も、自家消費案件をはじめ Non-FIT 発電所が急激に増加しています。

しかし、業界の経験不足や、制度の完成度不足などもあり、地域に不安や実害を与える事例も発生。このままでは、地域における再エネ普及が破綻してしまう事態に！ また、こういった状況を受け、発電事業者の取り締まりが年々強化され、不適切な発電所は破綻に追い込まれる世界がすぐそこに迫っています。では「不適切な発電所」はもう破綻するしかないのでしょうか？

現在の既設発電所が抱える問題

格付け無し 発電所の価値を「評価」する物差しがないため、優良でも不適切でも同じ価値に



発電事業者	不適切な発電所でも気づけず、機器の故障による発電停止や認定取り消しによる売電不可の可能性あり 当初の計画より長期稼働する優良発電所の場合であっても、価値に気づけず転売時に安く売ってしまう
行政・地域	地域に不安・実害を与える設備であっても、良・悪の判断ができない →指導・改善ができない また、実害が発生する前に確認もできないため、予防もできない
金融機関	不適切な発電所にもかかわらず、気づかずに融資してしまう →ある意味、地域に迷惑をかけている共犯者になってしまう 急な発電停止や売電不可などのトラブルにより、融資返済がこげつく恐れあり
保険	不適切な発電所にも安価な保険料で加入させてしまう →保険金の支払いが増加、赤字に
転売時購入者	不適切な中古発電所を高く購入してしまう →急な発電停止や売電不可などのトラブルの恐れあり

格付け有り 優良な発電所ほど、FIT 終了後も長期間発電し、生涯収入が増加（価値向上）



【格付けによる期待効果例】

発電事業者	格付けすることで発電所の価値が向上	発電所の価値が同等もしくは減少	価値が大幅に減少もしくは設備として無価値に
行政・地域	地域への迷惑や実害の心配が減少 →安心して太陽光発電の導入を促進できる		悪い発電所だけを指導・改善できる 法令違反は売電収入差し押さえ
金融機関	融資条件の物差しとして活用。品質に応じて条件の見直し。		リスクの大きな発電所を 融資停止・解除に
保険	保険料の基準として活用。更新時に見直し、良いものほど保険料が安く!? 災害などの事故発生時に適切な設備である証明にもなる		保険料が高額に。または解約
転売時購入者	ランクに応じた適正な価格で購入でき、安定した発電事業を行える		購入を回避できる

さらに格上げ

格上げすることで、すべてのプレイヤーがWIN-WIN の関係に
地域も発電事業者も破綻から救われる

【格上げによる効果】

発電事業者	長期稼働し、収入増加。良質な発電所は転売時に高く売れる 保険料も安く!? 金利も安く!?	格上げで破綻を回避
行政・地域	太陽光発電の導入に、より一層積極的に	格上げで不適切な発電所がなくなり 不安や実害が減少
金融機関	融資回収リスクが減少し、融資がしやすくなる	
保険	事故発生率が減少し、保険金の支払いが減少	
転売時購入者	優良な発電所だけを購入でき、発電停止などのトラブルが減少 安定的で計画的な事業が行える	セカンダリー市場も活性化

これからの新設発電所は

格付けが
常識に!!

【格付けによる効果】

発電事業者	優良な発電所だけを建設できるので発電停止などのトラブルが少なく、安定的で計画的な発電事業が行える だけでなく、投資効果や生涯収入が最大の発電所を取得できる
行政・地域	発電所のランクがわかるため、不適切な設備にピンポイントで指導できる →結果としては、よい発電所だけが建設されるため、安心して太陽光発電の導入を促進できる
金融機関	融資判断がスムーズに行え、急な発電停止などのトラブルも少なく 安心して融資を実行できる
保険	ランクに応じた保険料率を設定でき、保険事業全体の赤字を解消

新設においては、建設前にランクを選択できるため、
結果として、優良な発電所だけに建設が集中する

「格付け」がスタンダードになる時代へ

※ エクスルでは、ミシュランガイドのような「★数」による格付けを行っています。

XSOL SOLAR STAR 制度の特長

XSOL SOLAR STAR制度とは

オフサイト(野立て)の太陽光発電所を対象に、太陽光発電所の価値(共通の物差し)を審査する制度です。
この制度を利用することにより、新設、既設それぞれで次のようなメリットがあります。

- 【新 設】 現状の状態を把握し、計画の見直しや発電所計画の修正を行うことにより、より良い発電所建設を行えます。
- 【既 設】 現状の価値や状態を把握し、必要に応じて修繕(リパワリング)を行うことにより、発電所の価値向上を図れます。

「基本6項目」「査定評価2項目」で評価後、星の数で現状評価を算出

「XSOL SOLAR STAR 制度」は、基本項目と査定評価項目で太陽光発電所をランク付けし、現状評価を算出します。
基本項目は「設備」「施工」「土地」「法的DD(デューデリジェンス)」「地域への告知」「ハザード」の6項目。基本項目のうちひとつでも基準を満たすことができなかった場合は、売買を推奨しない発電所ということで査定評価の対象外となります。
基準をすべて満たすことができた発電所は、発電効率と長期安定稼働(発電所が長期にわたって安定稼働することが見込めるか)を評価します。最終的に、各項目の評価を掛け合わせて発電所を5段階にランク付けしていきます。

【太陽光発電所の審査の流れ】

基本項目	設備	施工	土地
	法的DD	地域への告知	ハザード

一つでも基準を満たしていない場合は対象外に

査定評価項目	長期安定稼働 (災害など外的要因にも強く、どれだけ長期にわたって安定的に稼働することが見込めるか) 評価：A、B、C、D、Eの5段階で評価
	発電効率評価 評価：a、b、c、d、eの5段階で評価

ふたつの評価を掛け合わせて、星の数でランク付けします。

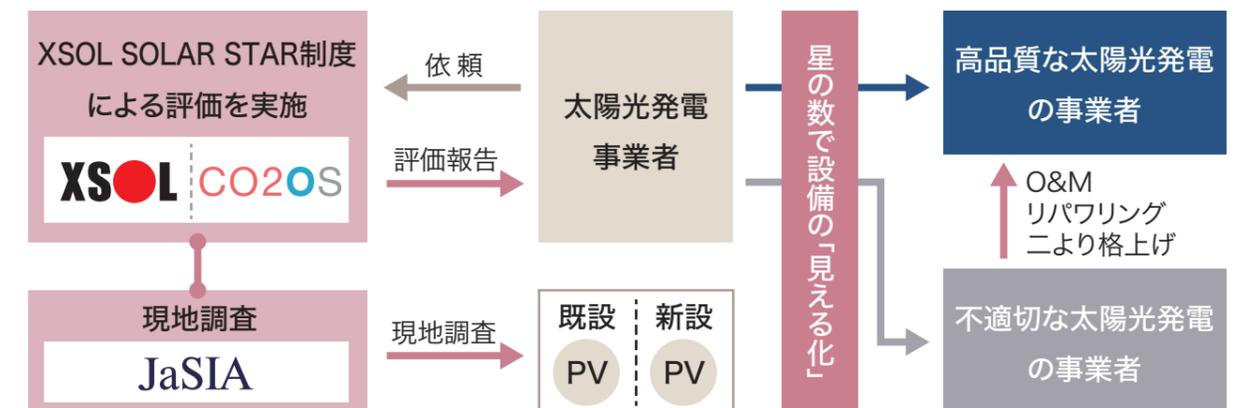
評価例※	★★★★★	★★★★	★★★	★★	★
	A-a、A-b、B-a など	A-c、A-c、B-b など	A-e、C-c、B-d など	E-c、C-e、D-d など	E-e など

※ 評価の組み合わせは一例です。該当の組み合わせであっても、現場の状況によってはランクが異なることがあります。

全国の太陽光発電所に対応できる協業体制

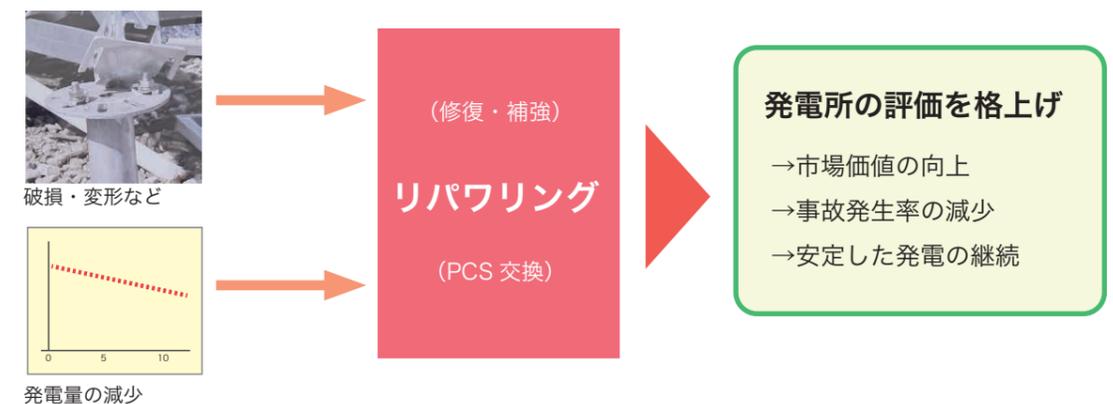
全国の太陽光発電所でXSOL SOLAR STAR 制度の評価体制を強化するため、株式会社CO2OS や、一般社団法人日本資産評価士協会(JaSIA)との業務提携を行っています。
エクソルの太陽光発電システムの導入に関するEPCとしての知見と、CO2OSの有するリスクを見極めてコントロールする知見を掛け合わせて、より精度の高い評価を実現し、さらに、太陽光発電システムの現地調査実績があり、全国に専門知識を有する会員が所属するJaSIAとパートナーシップを組むことで、評価体制を確立しています。

【太陽光発電事業者の依頼を受けて、品質評価、格上げまでのフロー図】



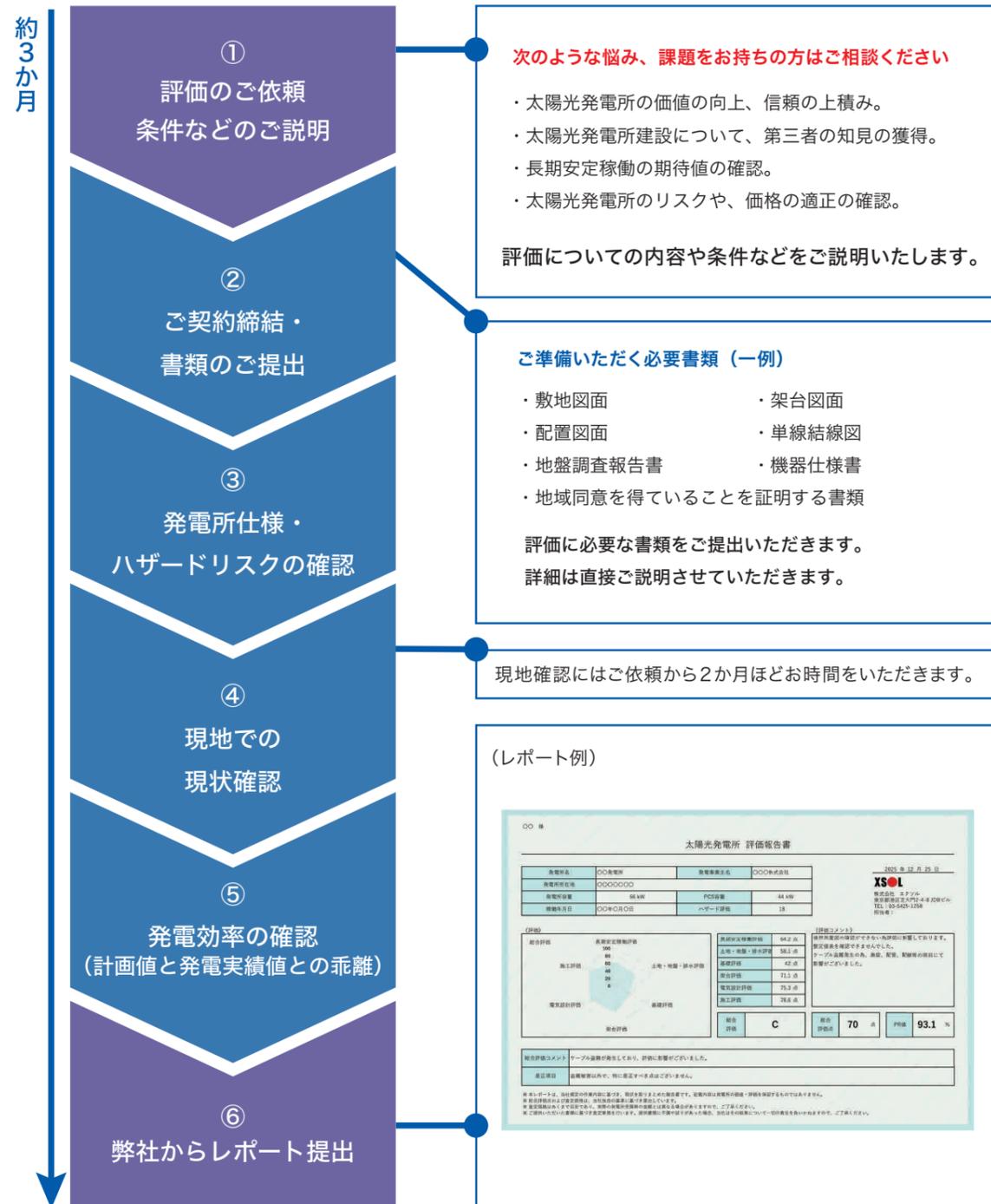
不適切なシステムは、最適なリパワリングで評価を格上げ

太陽光発電所の評価が低かった場合、リパワリングのご相談も承っております。
一部施設では、経年劣化や台風などによる架台の変形・破損が発生し、強度的に脆弱な状態で発電を続けている危険なケースや、パワーコンディショナなどの機器の経年劣化により、発電量が低下している場合もあります。
エクソルでは、ハイパフォーマンスな補強技術や、高効率のパワーコンディショナの交換などを提供しています。最適なリパワリングで発電所の破綻や不安を取り除き、長期安定稼働を実現します。



評価の流れ（通常パッケージ）

太陽光発電所の評価についてご依頼をいただいてから、おおよそ3か月でレポートをご提出させていただきます。
 評価には現地への確認とともに、各種の書類を確認いたします。必要書類の詳細についてはお問い合わせください。



参考

【土地評価14項目】 ※ 受領書類からの評価となります。

評価項目	評価基準
エリア	どの管轄電力会社によるか
粗度区分	—
塩害	メーカー既定の塩害基準の該当有無
境界確定	境界確定の有無
敷地外の土地	のり面あり、斜面あり 等
敷地外の影	影響なし、家屋あり、樹木あり 等
道	接道の有無
道	搬入路の有無
道	大型重機の乗り入れ可否
道	赤道の有無
道	青道の有無
敷地内の水	水道の有無、水たまりの有無 等
土地契約	権利状態（所有権・地上権・借地権）の確認
遠隔監視	遠隔監視の有無

【法的デューデリジェンス（関係法令チェック20項目）】 ※ 受領書類からの評価となります。

1. 国土利用計画法	12. 森林法
2. 都市計画法	13. 文化財保護法
3. 河川法	14. 土壌汚染対策法
4. 港湾法	15. 自然公園法
5. 海岸法	16. 自然環境保全法
6. 急傾斜地法	17. 種の保存法
7. 砂防法	18. 鳥獣保護管理法
8. 地すべり等防止法	19. 環境影響評価法・条例
9. 景観法	20. 宅造法
10. 農振法	21. その他、地域ごとの法規制
11. 農地法	

* 継続的な開発および改善などにより、製品・サービスの仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

* 記載の期間は目安です。 * 現地確認は外部委託になる場合があります。
 * 足りない書類がある場合、一部の書類作成については別途ご依頼いただくことも可能です(別途料金が発生します)。
 * 本審査は対象発電所の現状を独自評価したものです。提出したレポートは発電所の価値を担保するものではありません。

XSOL SOLAR STAR 補償

～災害補償付き PV 評価サービス～

特長

「XSOL SOLAR STAR 補償」は、エクソルが提供する野立て発電所向けの発電所評価制度「XSOL SOLAR STAR 制度」の評価結果 A～F ランクのうち、E ランク以上の評価を得た太陽光発電所がご加入いただける保険サービスです。新設の太陽光発電所だけでなく、稼働済み太陽光発電所もご加入いただけます。補償サービス内には発電所運営をサポートする XSOL コンシェルジュサービスも含まれています。

また、火災、落雷、風災、雪災、落下・飛来・衝突、水災といった主な災害事故を 100% 補償します。

補償対象

- 設備容量 10kW 以上 1,000kW 以下かつ税込販売価格 1 億円以下であること
- XSOL SOLAR STAR 制度にて一定の評価 (E ランク以上) を獲得した太陽光発電所
 - 1 稼働済みの太陽光発電所
 - ・保険の延長をしたい (例: 既存の保険が終了予定、または、終了にあたり別の保険を検討している)
 - ・リパワリングしたい
 - 2 新設の太陽光発電所
 - ・免責範囲の狭い保険に加入したい

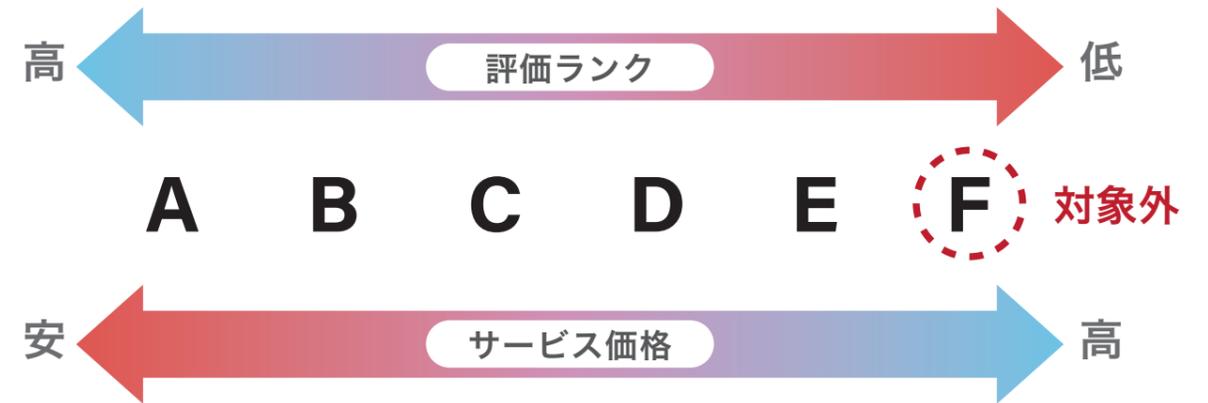
補償概要

加入条件 ^{*1}	エクソル提携会社が所有し、評価制度 (XSOL SOLAR STAR 制度) にて評価ランク E 以上の太陽光発電システム
対象設備 ^{*2}	太陽光発電システムのうち以下の設備 ① 太陽電池モジュール、② 接続箱、③ パワーコンディショナ、④ キュービクル、⑤ カラーモニター、⑥ 監視システム、⑦ 蓄電池、⑧ 防草シート、⑨ 架台、ケーブル、金具等の部材および系統連系に必要な機材
補償対象となる事故内容	火災、落雷、破裂、爆発、風災、雹災、雪災、落下・飛来・衝突、水災
支払限度額	最大 1 億円 ^{*3}
免責金額	なし
保険責任期間	5 年間
引受保険会社	三井住友海上火災保険株式会社
事務局	Solvvy株式会社
加入料	XSOL SOLAR STAR 制度の評価ランクごとに異なります。
損害保険金	支払い保険金は、システム購入価額ごとに設定した「補償限度額」か「保険金額 ^{*4} 」、「保険価額 ^{*5} 」のいずれか低い方を限度額とします。
臨時費用保険金	なし

価格について

「XSOL SOLAR STAR 制度」の評価ランクにより「XSOL SOLAR STAR 補償」のサービス価格は変動します。評価ランクが高いほどサービス価格は安くなるため、発電所運営に関わる固定費の削減ができます。

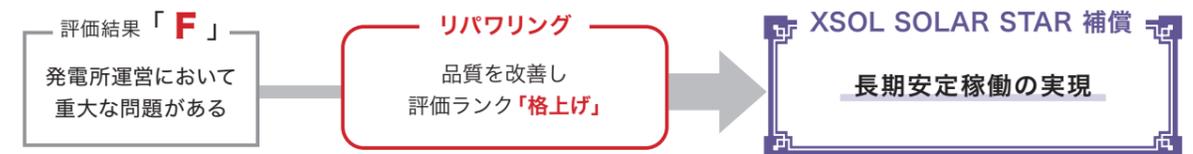
プラン例



対象外ランクの場合

XSOL SOLAR STAR 補償の対象外となる F ランクであっても、リパワリングによる修復・補強などを行い発電所の評価を格上げすることにより、XSOL SOLAR STAR 補償へご加入いただけます。

※ 価格は別途お問合せください。



※ 1 設備容量 10kW 以上 1,000kW 以下かつ税込販売価格 1 億円以下であること。

※ 2 敷地外にある機器類およびフェンス・鉄塔は除く。

※ 3 支払限度額: 太陽光発電所の容量や XSOL SOLAR STAR 制度による評価・査定により異なります。詳しくはエクソル営業担当までお問い合わせください。

※ 4 保険金額: 発電所 1 基につき、購入価格に 100% を乗じた額とします。

※ 5 保険価額: 保険の対象の再調達価額とします。

各種手続について

加入時



更新時

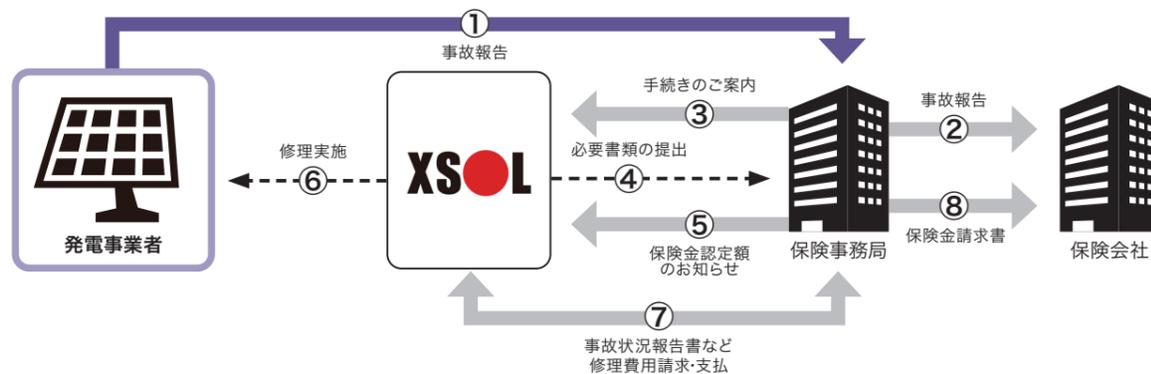


契約時提出書類 ※ 発電所評価時は別途書類のご提出をいただく場合がございます。

- ① 架台強度計算書、② 架台、基礎設計図、③ パネル配置図、④ 造成計画時、⑤ 排水、流量計算書、⑥ 自営線ルート図、⑦ 地質調査資料、⑧ ヒアリングシート

事故対応時

事故報告は、事務局までご報告いただけます。有効な火災保険契約がある方は、先に火災保険の保険金請求をお願いします。また、必要に応じて保険会社より現場調査の依頼があります。

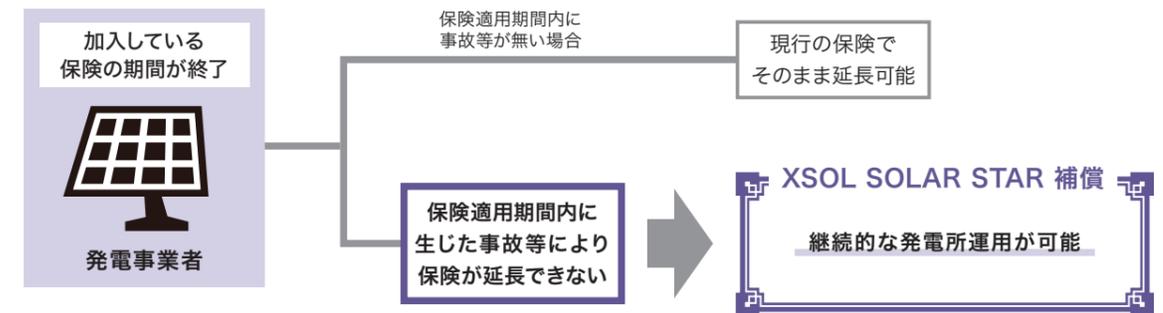


参考事例

保険の延長・見直しをしたい場合



保険更新時に保険料の値上げや内容の変更(免責事項の追加)を言われてしまった。発電所を継続して運営していくために安心して加入、延長できる保険商品が欲しい。



免責事由一覧

- 被保険者または保険金受取人の故意もしくは重大な過失または法令違反によって生じた損害
- 被保険者と生計を共にする同居の親族の故意によって生じた損害
- 戦争、外国の武力行使、革命、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動によって生じた損害
- 核燃料物質もしくは核燃料物質によって汚染された物、放射線照射または放射性汚染によって生じた損害
- 地震もしくは噴火またはこれらによる津波によって生じた損害
- 差押え、収用、没収、破壊等または公共団体の公権力の行使によって生じた損害
- 保険の対象の欠陥、摩耗、使用による品質もしくは機能の低下、虫害、ねずみ食いまたは性質によるむれ、かび、変質、変色、さびもしくは腐食によって生じた損害
- 外来の事故に直接起因しない保険の対象の電気的事故または機械的事故によって生じた損害
- 保険の対象に対する修理、清掃等の作業中における作業上の過失または技術の拙劣によって生じた損害
- 詐欺または横領によって生じた損害
- 真空管、電球等の管球類に単独に生じた損害
- かき傷、すり傷、かけ傷、汚れ、しみまたは焦げ等保険の対象の機能に直接関係のない外形上の損傷
- 保険契約者、被保険者もしくは保険金受取人の従業員等が、単独または第三者と共謀して行った盗取その他の不誠実行為によって生じた損害
- 日本国外で生じた事故による損害
- 保険の対象の設置場所を変更した後に生じた場合
- 保険の対象を売却または譲渡した後に生じた場合
- 被保険者の他の保険契約等で補償される損害（ただし、他の保険契約等で補償された後さらにこの保険契約で支払うべき保険金が残る場合はその残りの部分に相当する保険金が支払われます。）
- 太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、接続箱、架台、金具、カラーモニター、その他エクソルから提供した部材に現地加工や改造を施したことに起因する事故や損害
- 経年現象による汚れや黒ずみ、埃の堆積などの経年劣化
- 表示装置の液晶照度の低下、発電時の運転音などの変化など発電性能に直接影響しない機器の変化
- 設工業者が加入している火災保険等で上記の補償内容に沿った補償される場合は火災保険等が優先されます

上記以外にも保険金をお支払いしない場合があります。ご不明な点については、取扱代理店へお問い合わせください。

FAQ ～よくある質問～

Q XSOL SOLAR STAR 制度の目的は何ですか？

A 昨今、災害の激甚化による発電所の事故や被害の増加、メンテナンス未実施による地域住民とのトラブルなどのニュースが増加し、世間の発電所事業に対する印象は年々悪化しています。
「XSOL SOLAR STAR 制度」は発電所評価基準に対する共通の物差しを提供しており、現在の状態を把握していただくことにより、計画の見直し、修正（修繕）を行い、2030年までに「規制、または品質に重大な問題を抱えている発電所を無くすことを目指しています。

Q 必要書類が足りない場合はどうなりますか？

A 重要な書類の場合、審査をお断りすることがあります。ただし書類の種類によっては、弊社で作成することも可能ですのでご相談ください（別途料金が発生します）。

Q 評価を受けた後に、修繕やリパワリングを行って指定のランクまで格上げがしたいです。提案をいただくことは可能でしょうか？

A 可能です。詳細は弊社営業担当までお問合せください。

Q XSOL SOLAR STAR 制度の費用はいくらになりますか？

A 作業内容によって異なりますので、弊社営業担当者までお問い合わせください。

Q 通常パッケージ以外の部分の調査を頼むことはできますか？

A 可能です。オプションとなり、別途料金が発生します。詳細は弊社営業担当までお問合せください。

Q 審査の基本項目の基準とはどんなものですか？

A 基準は以下の通りです。詳細は弊社営業担当までお問合せください。

設備	機器においては JET 認証 架台、杭は電技基準に準拠している	法的 DD	関連法令 (20 項目) + 各自治体の条例を満たしている
施工	エクソルの施工基準を満たしている (太陽光発電事業の評価ガイドに準拠)	地域への告知	事前に受領する書類ベースで評価
土地	土地評価基準 (14 項目) をすべて満たしている	ハザード*	危険性が極めて高い場所への設置は NG

* 国土交通省「重なるハザードマップ」を参照 <https://disaportal.gsi.go.jp/index.html>

ひきだしたい、無限の太陽力。XSOL 株式会社エクソル

東京本社 〒105-0012
東京都港区芝大門2-4-8 JDBビル

0120-33-1139

www.xsol.co.jp

XSS-202508-0005